

「ザンギリ頭が聴いた西洋のひびき」

『音の錦絵』

— 絵師たちの見た洋楽器 —

＝ 耳をすませば浮世絵に、文明開化の音がする ＝



「小学唱歌之略圖」 揚洲周延
明治20年（1887年 澤崎真彦 蔵）

日時：2018年2月14日（水）13時～16時
2月15日（木）10時～16時
2月16日（金）10時～12時

会場：学校法人福山大学 宮地茂記念館
（福山市丸之内1丁目2番40号）

主催：学校法人 福山大学
協力：東京学芸大学附属図書館

＝耳をすませば浮世絵に、文明開化の音がする＝

《出展予定作品》

A 外国船の到来（長崎絵）、漂流

1. 「フロシャ人」（長崎恵） 作者不詳 文政年間（1818～1829）
2. 「阿蘭陀女人」（長崎絵） 作者不詳 文政年間（1818～1829年）
3. 「亜墨新話」 酒井順蔵、前川文蔵撰 那波希顔識 天保15年（1844年）10月序
4. 「海陸御固御場所付」 作者不詳 安政元年頃（1854年頃）
5. 瓦版「露西亜人上陸行列音楽之圖」 安政6年（1859年頃）

B 外国人の奏でる洋楽器

6. 「外国人子供寵愛之圖」 一川芳員 万延元年（1860年）10月
アコーディオン
7. 「生写異国人物亜墨利加女官翫板篋之圖」 五雲亭貞秀 万延元年（1860年）11月
8. 「魯西亜 英吉利 いこくことバ あめりか」 惠斎芳幾 万延元年（1860年）12月
9. 「外国人物圖画 魯西亜」 一猛斎芳虎 万延元年（1860年）
10. 「外国人物図画 亜米利加」 一惠斎芳幾 文久元年2月（1861年）

C 外国人の生活・風俗（江戸期）の中の洋楽器

11. 「横浜鈍宅之圖」 五雲亭貞秀作 文久元年（1861年）2月（東京学藝大学蔵）
12. 「五箇国人物行歩圖」 五雲亭貞秀 文久元年（1861年）3月
13. 「佛蘭西人、阿蘭陀人、英吉利人、南京、魯西亜人、亜米利加人」 一川芳員
文久元年（1861年）8月（東京学藝大学蔵）
14. 「横濱異人商館之圖」 五雲亭貞秀 文久元年（1861年）9月
15. 「露西亜人」 一川芳員 文久2年（1862年）
16. 「横浜異人屋敷之圖」 一川芳員 万延2年（1861年）1月

D 調練（軍事訓練）での洋楽器

17. 「調練早合点」 一猛斎芳虎 慶応3年（1867年）
18. 「駒場野之圖」 一猛斎芳虎 明治3年（1870年）
19. 「官軍勝利凱旋之圖」 永嶋孟斎画 明治10年（1877年）（東京学藝大学蔵）
20. 「競勝醉虎傳」 明治5年 芳年（天保10年 1839～明治22年）
21. 「音楽隊の組立」 永嶋春曉画 明治36年（1903年）

E 外国人の生活・風俗、日本の紹介での洋楽・洋楽器（明治期）

22. 「横濱海岸異人館之圖」 三代 廣重 明治3年（1870年）
23. 「KOHANASAN（こはなさん）」 ぼすどういき著（米国人） 明治25年（1892年）

F 日本人と洋楽・洋楽器（明治期）

24. 「小學唱歌集」 （音楽取調掛編 明治14年11月）
25. 「小学唱歌之略圖」 揚洲周延 明治20年（1887年）
26. 「小學唱歌雙六」 三代 広重 明治21年（1888年）12月
27. 「踏舞会上野櫻花観遊ノ圖」 揚洲周延 明治20年（1887年）3月
28. 「梅園唱歌圖」 揚洲周延作 明治20年（1887年）
29. 「欧州管絃楽合奏之圖」 揚洲周延 明治22年（1889年） 「岩間の清水」（明治唱歌）

G 口絵（木版画）、石版での洋楽器

30. 口絵「あさ露」 鏡木 清方（文芸倶楽部 第九卷十三号口絵） 制作年 明治36年（1903）和装でヴァイオリンを奏でるの女性
31. 石版回廊絵 タイトル不詳 作者不詳 大正期 アコーディオン、ヴァイオリン、指揮者が描かれている

附、「箏曲集」（明治21年10月28日 音楽取調掛撰 東京音楽学校発行）